

白内障術者の次の投資はこれだ！患者満足度を最大限にする周術期ドライアイ診療最前線
Forefront of dry eye management to maximize patient satisfaction

有田玲子（伊藤医院、LIME 研究会）

ドライアイは加齢とともに増加する疾患であり、白内障手術の適応となる患者層と年代がほぼ一致する。AAO、ASCRS や ESCRS では、「ドライアイは白内障手術によって悪化し、術後の患者からの不満の原因のひとつである」と警鐘を鳴らしている。特に ASCRS によって提唱されている白内障術前診断と治療のアルゴリズム (2019) では、ドライアイを術前に評価し、術前に治療を行ってから手術を行うことで、術後の患者満足度を最大限に高めることができる」と述べられている。

本講演では、より満足度の高い白内障手術を提供するために、ドライアイ最先端診療の観点から、具体的にお話させていただきたい。先生方、それぞれのニーズに合うよう、①最短ルート②最安ルート③効率重視ルート④ゴージャスルートを、ASCRS のアルゴリズムに照らし合わせてご提案する予定である。いざ、次の海域・ドライアイ診療へ出陣！